## 目次

第1章 肩・鎖骨に関する交通事故外傷	5
1-1.肩の構造	5
1-2.機能障害	6
1-3.神経障害	7
1-4.変形障害	8
第2章 自賠責保険の請求手続き	9
2-1. 一括払いと被害者請求	9
2-1-1. 事前認定は後遺障害の認定に不利なのか?	11
2-1-2. 手続きにかかる手間は?	13
2-1-3.損害賠償金の支払い時期は?	14
2-2.被害者請求の手続の流れ	15
2-3. 請求書類の取り寄せ	18
2-4. 後遺障害認定に必要な提出書類	19
2-5. 提出書類の記入方法	20
2-6. 提出方法	21
2-7.時効	22
第3章 後遺障害等級認定のポイント	23
3-1.認定に必要な3つの条件	23
3-2.やってはいけない3つのこと	25
3-3.医師の立場を理解しよう	26
3-4. 医師が転勤してしまったら	28
3-5. 症状固定日を決める	29

3-6. 診断書を書いてもらう31
3-7. 異議申し立て
3-8.異議申し立ての対策立案から申請まで35
3-8-1. 診断書の傷病名を確認する。
3-8-2. 自覚症状を書き出す。
3-8-3. どのような検査が行われたのか確認する。 35
3-8-4. 医師の診断の根拠を検討する。
3-8-5. 情報を整理し、対策を検討する。
3-8-6. 提出書類
3-9.異議申し立ての事例37
例 1 初回認定が非該当の場合37
例 2 初回認定が疼痛で 1 4 級 9 号の場合 38
例3 初回認定が鎖骨変形で12級の場合39
第4章 肩・鎖骨に関する後遺障害40
4-1. 腱板損傷40
4-1. 腱板損傷40【図1】肩関節(正面から)41
【図1】肩関節(正面から)41
【図1】 肩関節(正面から) 41   【図2】 肩関節(右側方から) 42
【図1】 肩関節(正面から) 41   【図2】 肩関節(右側方から) 42   【図3】 腱板(背面から) 43
【図1】 肩関節(正面から) 41   【図2】 肩関節(右側方から) 42   【図3】 腱板(背面から) 43   【図4】 腱板(上方から) 44
【図1】 肩関節(正面から) 41   【図2】 肩関節(右側方から) 42   【図3】 腱板(背面から) 43   【図4】 腱板(上方から) 44   4-1-1. 腱板断裂なのに何故非該当か? 45
【図1】肩関節(正面から) 41   【図2】肩関節(右側方から) 42   【図3】腱板(背面から) 43   【図4】腱板(上方から) 44   4-1-1. 腱板断裂なのに何故非該当か? 45   4-2.肩関節の脱臼 47
【図1】肩関節(正面から) 41   【図2】肩関節(右側方から) 42   【図3】腱板(背面から) 43   【図4】腱板(上方から) 44   4-1-1. 腱板断裂なのに何故非該当か? 45   4-2.肩関節の脱臼 47   4-3.肩鎖関節の脱臼 48
【図1】肩関節(正面から) 41   【図2】肩関節(右側方から) 42   【図3】腱板(背面から) 43   【図4】腱板(上方から) 44   4-1-1.腱板断裂なのに何故非該当か? 45   4-2.肩関節の脱臼 47   4-3.肩鎖関節の脱臼 48   4-4.鎖骨の骨折 49

4-7.肩甲骨骨折54
4-8.腕神経叢損傷55
4-9. 胸郭出口症候群
4-10.五十肩57
第5章 肩の機能障害の認定基準58
5-1.認定される等級 58
5-2.関節可動域の測定方法59
【図6】肩関節可動域の測定61
5-3.関節可動域制限の原因65
第 6 章 参考事例
6-1.鎖骨骨折で8ヵ月間通院し、神経障害で12級に認定された
40 歳の人の年収別損害賠償額66
6-2.鎖骨骨折で10ヶ月間通院し、機能障害で12級に認定され
た 40 歳の人の年収別損害賠償額67
6-3.鎖骨変形で第12級に認定された被害者が、異議申し立てに
より 11 級に認定された事例
【A さんからのメール相談の内容】69
【弊事務所の回答】69
A さんの後遺障害診断書の内容71